Ⅰ　文学部

１．教養科目群カリキュラムマップ

	学習成果の目標の各項目		学習成果の目標の各項目の詳細
学修成果の目標（ディプロマポリシー）	教養		下記の表の各科目区分に記載
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

科目区分		授業科目の名称	学修成果の目標（ディプロマポリシー） 教養		汎用力 思考力	実行力	表現力	情報力
基礎ゼミ		導入演習（国際言語・文化）	大学教育に必要な基礎的素養を身につけ、建学の理念や教育方針等を理解する	○	○	○	○	○
		導入演習（史学・文化財）		○		○	○	
		導入演習（人間関係）		○	○	○	○	○
		基礎演習（国際言語・文化）		○	○	○	○	○
		基礎演習（史学・文化財）		○			○	○
		基礎演習（人間関係）		○	○	○	○	
	コア１ 学際科目	大学史と別府大学	特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につける	○	○	○		
		温泉学概論		○	○	○		○
		キャリア教育Ⅰ		○	○	○		
		キャリア教育Ⅱ		○		○	○	○
		インターンシップⅠ		○		○	○	
		インターンシップⅡ		○		○	○	
		市民生活とアーカイブズ		○	○	○		
		ＮＰＯ論		○	○		○	○
		トップマネジメント講話		○	○	○		
		手話		○			○	
		世界農業遺産体験学習		○		○		
		九州学		○			○	
		地域社会フィールドワーク演習		○	○	○	○	○
		汎領域研究１（単位互換）		○				
		汎領域研究２（単位互換）		○				
		汎領域研究３（単位互換）		○				
		汎領域研究４（単位互換）		○				
	コア２ 人間と文化の探求	文学	人間と文化の探求に必要な教養を身につける	○	○	○	○	○
		哲学		○	○			
		倫理学		○	○			
		生命倫理学		○	○			
		心理学Ⅰ		○	○	○	○	○
		心理学Ⅱ		○	○	○	○	○
		日本文化史		○	○		○	○
		世界文化史		○	○		○	○
		科学史		○	○		○	
		体育実技Ⅰ		○	○	○	○	○
		体育実技Ⅱ		○	○	○	○	○
		スポーツと健康		○	○	○		
	コア３ 現代社会の多面的理解	法学(日本国憲法)	現代社会の多面的理解に必要な教養を身につける	○	○			○
		法律学		○	○			○
		行政法		○	○			○
		経済学		○	○			○
		社会学		○	○			
		歴史学		○	○			
		地域福祉論		○	○			
		社会調査法		○	○			
		社会思想史		○	○			
		政治学		○	○	○	○	○
		マスコミ論		○	○	○	○	○
		国際文化論１		○				
		国際関係論		○	○			○
		地域環境論		○	○		○	○

科目区分		授 業 科 目の名称	学修成果の目標（ディプロマポリシー）					
			教養		汎用力			
					思考力	実行力	表現力	情報力
コア科目		情報文化論		○	○		○	○
		国際理解Ⅰ		○				
		国際理解Ⅱ		○				
		社会生活概論		○	○	○		
		ボランティア活動論		○	○	○	○	○
		人権教育論		○	○			○
	コア４ 科学と情報	生物学	自然環境の理解に必要な教養を身につける	○	○	○	○	○
		数学基礎		○	○			
		化学基礎		○			○	
		科学技術論		○	○		○	
		科学と社会		○	○		○	
		情報リテラシーⅠ	情報の収集・作成・加工・発信の基礎スキルを身につける	○	○	○	○	○
		情報リテラシーⅡ		○	○	○	○	○
		論理学		○	○			
		統計学		○	○			
	コア５ 国際理解のための言語	英語１	外国語の基礎的なコミュニケーション能力を身につける	○	○		○	
		英語２		○	○		○	
		英語３		○	○	○	○	○
		英語４		○	○	○	○	○
		英語５		○			○	
		英語６		○			○	
		英会話基礎１		○		○		
		英会話基礎２		○		○		
		ＴＯＥＩＣ１		○			○	
		ＴＯＥＩＣ２		○				○
		ＴＯＥＩＣ３		○		○		
		ＴＯＥＩＣ４		○			○	
		ＴＯＥＩＣ５		○		○	○	○
		ＴＯＥＩＣ６		○		○	○	○
		ＴＯＥＩＣ７		○	○	○		
		ＴＯＥＩＣ８		○	○	○		
		英語ステップアップ演習１		○			○	
		英語ステップアップ演習２		○			○	
		ドイツ語基礎１		○				○
		ドイツ語基礎２		○				○
		ドイツ語コミュニケーション１		○				○
		ドイツ語コミュニケーション２		○				○
		フランス語基礎１		○	○	○	○	
		フランス語基礎２		○	○	○	○	○
		フランス語コミュニケーション１		○				
		フランス語コミュニケーション２		○				
		中国語基礎１		○	○	○	○	
		中国語基礎２		○	○	○	○	○
		中国語コミュニケーション１		○	○	○	○	
		中国語コミュニケーション２		○	○	○	○	○
		韓国語基礎１		○	○		○	
		韓国語基礎２		○	○		○	
		韓国語コミュニケーション１		○			○	○
		韓国語コミュニケーション２		○			○	○
外書講読		外書講読１	英語の文献読解力を高める	○	○		○	
		外書講読２		○	○		○	
		外書講読３		○	○		○	
		外書講読４		○	○		○	

２．外国人留学生及び帰国子女を対象にした科目カリキュラムマップ

授業科目の名称		学修成果の目標（ディプロマポリシー）					
		教養		汎用力			
				思考力	実行力	表現力	情報力
日本語	上級日本語聴解１		○		○		
	上級日本語聴解２		○				○
	上級日本語文字・語彙１		○			○	
	上級日本語文字・語彙２		○			○	
	上級日本語文法１		○			○	
	上級日本語文法２		○			○	

科目区分	授 業 科 目の名称	学修成果の目標（ディプロマポリシー）					
		教養		汎用力			
				思考力	実行力	表現力	情報力
	上級日本語読解１	外国人留学生が大学で専門的な学修ができるための必要な日本語力を身につける	○	○	○	○	
	上級日本語読解２		○	○	○	○	
	日本語アカデミックリーディング１		○	○		○	
	日本語アカデミックリーディング２		○	○		○	
	日本語アカデミックプレゼンテーション１		○	○	○	○	○
	日本語アカデミックプレゼンテーション２		○	○	○	○	○
	日本語アカデミックライティング１		○			○	
	日本語アカデミックライティング２		○			○	
	日本語アカデミックライティング３		○			○	
	日本語アカデミックライティング４		○			○	
	日本語アカデミックスキル１		○	○		○	○
	日本語アカデミックスキル２		○	○		○	○

３．文学部専門科目群

１）文学部共通専門科目カリキュラムマップ

	学習成果の目標の各項目		学習成果の目標の各項目の詳細
学修成果の目標（ディプロマポリシー）	専門力		下記の表の各科目区分に記載
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

区分	授業科目	学修成果の目標（ディプロマポリシー）					
		専門力	汎用力				
			思考力	実行力	表現力	情報力
人文系	国文学概論	人文系の入門的･概論的な知識を修得する	○	○	○	○	
	言語学概論		○			○	
	言語習得概論		○			○	
	書道概論１		○				
	書道概論２		○				
	漢字かな交じり書(書写を含む)		○	○	○	○	
	楷書(書写を含む)		○	○	○	○	
	行書(書写を含む)		○	○	○	○	
	英米文学概論		○	○			○
	英文法１		○	○		○	
	英文法２		○	○		○	
	美術史概論		○	○	○		○
	芸能文化論		○				
	日本史概論１		○	○		○	
	日本史概論２		○	○		○	
	世界史概論１（西洋史）		○	○		○	
	世界史概論２（東洋史）		○			○	
	考古学概論		○	○			○
	文化財科学概論		○	○			
	世界遺産学概論		○	○	○		○
	比較文化研究		○	○	○		○
	比較文化研究１		○				
	比較文化研究２		○				
	世界遺産研究（国外）		○				
	世界遺産研究（国内）		○				
	異文化共有論		○	○	○	○	
	図書館概論		○	○			
	図書館サービス概論		○	○		○	
	情報サービス論		○	○			○
	児童サービス論		○	○	○	○	
	博物館概論		○	○			
	博物館教育論		○	○	○	○	
	博物館情報・メディア論		○	○			
	デジタルアーカイブズ		○		○		
社会科学系	地理学概論	社会科学系の入門的･概論的な知識を修得する	○	○		○	○
	文化人類学		○	○			○
	民俗学概論		○	○		○	
	環境歴史学概論		○	○		○	
	地方自治論		○	○			
	生涯学習論Ⅰ		○	○	○	○	○

区分	授 業 科 目	学修成果の目標（ディプロマポリシー）					
		専門力		汎用力			
				思考力	実行力	表現力	情報力
	生涯学習論Ⅱ	論理的な知識を修得する	○	○	○	○	○
	地方行政論		○	○			
	まちづくり特論		○	○			
	地域創造と経営Ⅰ		○	○			
	地域創造と経営Ⅰ		○	○			
芸術系	マンガ概論	芸術系の入門的･概論的な知識を修得する	○	○		○	○
	アニメーション概論		○			○	○
	芸術表現Ⅰ		○	○	○	○	○
	芸術表現Ⅱ		○			○	
	芸術表現Ⅲ		○	○	○		
	芸術表現Ⅳ		○	○	○	○	○
	デザイン概論		○	○	○		
	社会とデザインⅠ		○		○		
	社会とデザインⅡ		○		○		
	アートマネージメント		○				
日本語系	ビジネス日本語（聴読解）１	専門の学修に必要な日本語能力を高める	○	○	○	○	○
	ビジネス日本語（聴読解）２		○	○	○	○	○
	ビジネス日本語（リーディング）１		○	○	○	○	○
	ビジネス日本語（リーディング）２		○	○	○	○	○
	ビジネス日本語（ライティング）１		○			○	
	ビジネス日本語（ライティング）２		○			○	○
	ビジネス日本語（コミュニケーション）１		○	○		○	○
	ビジネス日本語（コミュニケーション）２		○		○	○	
	ビジネス日本語（経済と社会）１		○	○	○	○	
	ビジネス日本語（経済と社会）２		○	○	○	○	
総合系	教育実践Ⅰ	専門の学修を深めるための分野横断的･総合的な知識･技能を修得する	○				
	教育実践Ⅱ		○	○	○	○	○
	総合ゼミⅠ		○	○	○		
	総合ゼミⅡ		○	○	○		

２）国際言語・文化学科専門科目カリキュラムマップ（平成30年度入学生）

	学習成果の目標の各項目		学習成果の目標の各項目の詳細
学修成果の目標（ディプロマポリシー）	専門力		下記の表の各科目区分に記載
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

科目区分		授 業 科 目	学修成果の目標（ディプロマポリシー） 専門力		汎用力 思考力	実行力	表現力	情報力
演習科目	発展演習	発展演習１（国際言語・文化）	専門の基礎的な知識･能力を高める	○		○	○	
		発展演習２（国際言語・文化）		○	○		○	
	専門演習	専門演習１（英語・英米文学）	専門の知識や考え方を深めるとともに、課題の探求力、発表能力などを高め、卒業演習につなげる	○			○	○
		専門演習１（日本語・日本文学）		○	○	○		
		専門演習１（絵画）		○	○		○	
		専門演習１（デザイン）		○	○	○	○	
		専門演習１（マンガ）		○	H32から開講			
		専門演習１（映像・アニメーション）		○	H32から開講			
		専門演習１（美術史）		○	H32から開講			
		専門演習１（言語表現）		○	H33から開講			
		専門演習２（英語・英米文学）		○			○	○
		専門演習２（日本語・日本文学）		○	○		○	
		専門演習２（絵画）		○	○		○	
		専門演習２（デザイン）		○		○	○	
		専門演習２（マンガ）		○	H32から開講			
		専門演習２（映像・アニメーション）		○	H32から開講			
		専門演習２（美術史）		○	H32から開講			
		専門演習２（言語表現）		○	H32から開講			
	卒業演習	卒業演習１（英語・英米文学）	テーマを絞って専門の学修を深め、４年間の集大成となる卒業論文（卒業制作）又は卒業研究を完成させる	○		○		
		卒業演習１（日本語・日本文学）		○		○	○	
		卒業演習１（芸術表現）		○	H34から開講			
		卒業演習２（英語・英米文学）		○	○	○		
		卒業演習２（日本語・日本文学）		○		○		
		卒業演習２（芸術表現）		○	H34から開講			
学科専門科目	専門基礎科目	日本文学史	上代から近現代にいたる日本文学の歴史、外国文学の影響、表現技法の特色などを古典や名著を精読して理解し、作家･作品研究の基礎を身につける	○	○	○	○	
		日本文学講義１（古典と近現代１）		○				
		日本文学講義２（古典）		○	○		○	
		日本文学講義３（近現代１）		○	○		○	
		日本文学講義４（近現代２）		○				
		日本文学講義５（古典と近現代２）		○	○		○	
		日本文学講義６（比較文学）		○	○	○		○
		漢文学概論		○	○		○	
		日本語学講義１（音声言語を含む）	日本語について音声や語彙、文法、歴史等に関する知識を多角的に修得し、日本語研究の基礎能力を身につける	○	○		○	
		日本語学講義２（日本語の語彙）		○			○	
		日本語学講義３（現代日本語文法）		○	○		○	
		日本語学講義４(古代日本語の歴史)		○	○		○	
		日本語学講義５(近代日本語の歴史)		○	○		○	
		日本語教育概論１	日本語教育について知識と技術を習得する。	○	○	○		
		日本語教育概論２		○	○			
		日本語教育教材論		○	○		○	○
		日本語教育キャリア形成論		○		○		○
		英会話１	英米文学作品を精読し、英語力、作品が生まれた文化や歴史に必要な知識を修得する	○			○	○
		英会話２		○			○	○
		英文法３		○	○		○	
		英文学史		○				○
		米文学史		○	○		○	○
		英米文学講読Ⅰ		○	○			○
		英米文学作品研究Ⅰ		○	○		○	○
		英米文学作品研究Ⅱ		○	○		○	○
		英米文学特殊研究Ⅰ		○	○			
		日英比較文化論１		○	○			
		アメリカンスタディーズⅠ		○	○		○	○
		言語文化論Ⅰ	異なる文化を比較しながら、言葉、文化等についての理解を深め、比較文化研究の基礎能力を身につける	○	H32から開講			
		言語文化論Ⅱ		○	H32から開講			
		比較文化論Ⅰ		○	H32から開講			
		比較文化論Ⅱ		○	H32から開講			
		観光文化論		○	H32から開講			
		芸術文化論		○	○		○	○
		芸術学概論		○		○	○	

科目区分		授 業 科 目	学修成果の目標（ディプロマポリシー）					
			専門力		汎用力			
					思考力	実行力	表現力	情報力
		芸術学講読	絵画、演劇などの芸術作品を鑑賞し、芸術の多様な表現、理論、歴史に関する知識を修得し、美術史研究の基礎能力を身につける	○	○			
		日本美術史概論		○				
		東洋美術史概論		○			○	
		西洋美術史概論		○	○	○		
		芸術と環境Ⅰ		○	H32から開講			
		芸術と環境Ⅱ		○	H32から開講			
		美術史特講Ⅰ		○	○		○	○
		美術史特講Ⅱ		○				○
		絵画技法Ⅰ	マンガ、デザイン、映像・アニメーション、絵画の作品を創作する知識・技能を身につける	○	H32から開講			
		絵画技法Ⅱ		○	H32から開講			
		絵画表現		○				
		基礎デザイン		○		○	○	
		経営とデザインⅠ		○	H32から開講			
		経営とデザインⅡ		○	H32から開講			
		デッサンⅠ		○				
		デッサンⅡ		○				
		彫塑Ⅰ		○	○			○
		工芸Ⅰ		○	○	○	○	○
		造形演習Ⅰ		○				
		造形演習Ⅱ		○				
		マンガ基礎技術Ⅰ		○	○	○	○	○
		マンガ基礎技術Ⅱ		○	○	○	○	○
		マンガ基礎技術Ⅲ		○	○	○	○	○
		キャラクター制作		○	H32から開講			
		マンガメディア表現		○	H32から開講			
		映像・アニメーションⅠ		○	H32から開講			
		映像・アニメーションⅡ		○	H32から開講			
		カラー・イメージデザインⅠ		○	H32から開講			
		カラー・イメージデザインⅡ		○	H32から開講			
	日本語・日本文学	日本文学研究１（古典と近現代１）	上代から近現代にいたる日本文学の歴史、外国文学の影響、表現技法の特色などを古典や名著を精読して理解し、作家・作品研究の基礎を身につける	○			○	
		日本文学研究２（古典と近現代２）		○	○		○	
		日本文学研究３（古典と近現代３）		○				
		日本文学研究４（近現代１）		○	○	○	○	○
		日本文学研究５（近現代２）		○				
		日本文学研究６（近現代３）		○	○			○
		日本文学研究７（近現代４）		○	○	○	○	○
		日本文学研究８（大分県の文学）		○			○	
		日本文学研究９（世界の中の日本文学）		○	○	○		○
		漢文学特論１		○	○		○	
		漢文学特論２		○				
		日本語学研究１（現代日本語文法）	日本語について音声や語彙、文法、歴史等に関する知識を多角的に修得し、日本語研究の基礎能力を身につける	○	○		○	
		日本語学研究２（日本語の方言）		○				
		日本語学研究３（日本語のバリエーション）		○				
		日本語学研究４（日本語の表記）		○			○	○
		日本語学研究５（日本語の文体）		○	○		○	
	英語・英米文学	英作文１	英文を正確に記述し、会話できる能力を身につける	○	○	○	○	○
		英作文２		○	○	○	○	○
		英作文３		○	○		○	
		英作文４		○			○	○
		英会話３		○			○	
		英会話４		○			○	
		英会話５		○			○	
		英会話６		○			○	
		英語学概論	英語について音声や語彙、文法、歴史等に関する知識を多角的に修得し、英語研究の基礎知識を身につける	○	○			○
		英語音声学		○			○	
		英語学特講		○	○			
		英語学特殊研究		○				
		英語学演習１		○	○			
		英語学演習２		○	○			
		英語学演習３		○				
		英語学演習４		○				
		英文法４	英米文学作品を精読し、英米文学の歴史、文化、作家等を深く理解し、考察する能力を身につける	○	○		○	
		英米文学作品研究Ⅲ		○	○		○	○
		英米文学講読Ⅱ		○	○			○
		英米文学特殊研究Ⅱ		○	○	○		○
		英米文学特殊研究Ⅲ		○	○	○		
		英米文学特殊研究Ⅳ		○	○	○		
		日英比較文化論２		○	○			
		アメリカンスタディーズⅡ		○	○		○	○
		ブリティッシュスタディーズⅠ		○				
		ブリティッシュスタディーズⅡ		○				
コース専門科目	芸術総合	映像文化論	文化としての言葉や芸術等についての幅広い知識を修得し、美術史研究と比較文化研究の基礎能力を身につける	○				
		美術工芸論		○	H32から開講			
		芸術文化特論Ⅰ		○	H32から開講			
		芸術文化特論Ⅱ		○	H32から開講			
		言語文化特論Ⅰ		○	H32から開講			
		言語文化特論Ⅱ		○	H32から開講			

科目区分		授 業 科 目	学修成果の目標（ディプロマポリシー）					
			専門力		汎用力			
					思考力	実行力	表現力	情報力
		比較文化特論Ⅰ		○	H32から開講			
		比較文化特論Ⅱ		○	H32から開講			
		絵画実習Ⅰ	マンガ、デザイン、映像・アニメーション、絵画の作品を創作する知識・技能を身につける	○	○		○	
		絵画実習Ⅱ		○	○	○	○	○
		絵画実習Ⅲ		○	○	○		○
		絵画実習Ⅳ		○	○	○	○	
		芸術専門Ⅰ		○	H32から開講			
		芸術専門Ⅱ		○	H32から開講			
		芸術専門Ⅲ		○	H32から開講			
		芸術専門Ⅳ		○	H32から開講			
		ＣＧ演習Ⅰ		○	○	○	○	
		ＣＧ演習Ⅱ		○			○	○
		ＣＧ演習Ⅲ		○				
		ＣＧ演習Ⅳ		○	H32から開講			
		デジタル背景制作Ⅰ		○	H32から開講			
		デジタル背景制作Ⅱ		○	H32から開講			
		脚本研究Ⅰ		○	○		○	○
		脚本研究Ⅱ		○	○		○	
		編集演習Ⅰ		○		○	○	○
		編集演習Ⅱ		○		○	○	○
		デザイン実習		○	H32から開講			
		３Ｄ・ＣＧ演習Ⅰ		○	H32から開講			
		３Ｄ・ＣＧ演習Ⅱ		○	H32から開講			
		グラフィックデザインⅠ		○	H32から開講			
		グラフィックデザインⅡ		○	H32から開講			
	卒業論文		４年間の学修の総仕上げとして、自らテーマを設定し、論文の作成、芸術作品の創作等を行う	○	○	○	○	○
	卒業制作			○	○	○	○	
	卒業研究			○	記入なし			

３）史学・文化財学科専門科目カリキュラムマップ

	学習成果の目標の各項目		学習成果の目標の各項目の詳細
学修成果の目標（ディプロマポリシー）	専門力		下記の表の各科目区分に記載
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

科目区分		授 業 科 目	学修成果の目標（ディプロマポリシー）					
			専門力	汎用力				
				思考力	実行力	表現力	情報力
演習科目	発展演習	発展演習１	専門の基礎的な知識・能力を高める	○	○	○	○	○
		発展演習２		○	○	○	○	○
	専門演習	専門演習１（環境歴史学）	専門の知識や考え方を深めるとともに、課題の探求力、発表能力などを高め、卒業演習につなげる	○	○	○	○	○
		専門演習１（民俗学）		○	○	○	○	○
		専門演習１（観光地理学）						
		専門演習１（美術工芸）						
		専門演習１（旧石器・縄文考古学）		○	○	○	○	○
		専門演習１（弥生・古墳考古学）		○	○	○	○	○
		専門演習１（歴史考古学）		○	○	○	○	○
		専門演習１（分析科学）						
		専門演習１（保存修復学）		○	○		○	
		専門演習１（東洋史）		○	○	○	○	○
		専門演習１（アジア史）						
		専門演習１（西洋史）		○	○			
		専門演習１（文明史）		○	○		○	
		専門演習１（古代・中世史）		○	○		○	
		専門演習１（近世史）		○		○		
		専門演習１（近現代史１）		○	○		○	
		専門演習１（近現代史２）						
		専門演習２（環境歴史学）		○	○	○	○	○
		専門演習２（民俗学）		○	○	○	○	○
		専門演習２（観光地理学）						
		専門演習２（美術工芸）						
		専門演習２（旧石器・縄文考古学）		○	○	○	○	○
		専門演習２（弥生・古墳考古学）		○		○	○	○
		専門演習２（歴史考古学）		○	○	○	○	○
		専門演習２（分析科学）						
		専門演習２（保存修復学）		○	○			
		専門演習２（東洋史）		○	○	○	○	○
		専門演習２（アジア史）						
		専門演習２（西洋史）		○	○			
		専門演習２（文明史）		○	○		○	
		専門演習２（古代・中世史）		○	○		○	
		専門演習２（近世史）		○			○	
		専門演習２（近現代史１）		○	○		○	○
		専門演習２（近現代史２）						
	卒業演習	卒業演習１（環境歴史学・文化遺産学）	テーマを絞って専門の学修を深め、4年間の集大成となる卒業論文（卒業制作）又は卒業研究を完成させる	○	○	○	○	○
		卒業演習１（考古学・文化財科学）		○	○	○	○	○
		卒業演習１（東洋史）		○	○	○	○	○
		卒業演習１（アジア史）						
		卒業演習１（西洋史）		○	○			○
		卒業演習１（文明史）		○	○	○	○	○
		卒業演習１（古代・中世史）		○	○	○	○	○
		卒業演習１（近世史）		○			○	
		卒業演習１（近現代史１）		○	○	○		
		卒業演習１（近現代史２）						
		卒業演習２（環境歴史学・文化遺産学）		○	○	○	○	○
		卒業演習２（考古学・文化財科学）		○	○	○	○	○
		卒業演習２（東洋史）		○	○	○	○	○
		卒業演習２（アジア史）						
		卒業演習２（西洋史）		○	○			○

科目区分		授 業 科 目	学修成果の目標（ディプロマポリシー） 専門力		汎用力 思考力	実行力	表現力	情報力
		卒業演習２（文明史）		○	○	○	○	○
		卒業演習２（古代・中世史）		○	○	○	○	
		卒業演習２（近世史）		○			○	
		卒業演習２（近現代史１）		○	○			
		卒業演習２（近現代史２）						
学科専門科目	専門基礎科目	アーカイブズ論Ⅰ	日本史・アーカイブズ学の学修に必要な基礎的な知識を修得する	○			○	
		アーカイブズ論Ⅱ		○				
		アーカイブズ管理論		○		○		
		レコードマネジメント論Ⅰ		○	H31から開講			
		レコードマネジメント論Ⅱ		○	H31から開講			
		日本史の基礎１		○	○			
		日本史の基礎２		○	○			
		世界史の基礎１		○	○		○	○
		世界史の基礎２		○			○	
		日本史講義１（古代史料論）		○	○		○	
		日本史講義２（中世史料論）		○	○		○	○
		日本史講義３（近世史料論）		○	○			
		日本史講義４（近現代史料論）		○			○	
		世界史講義１（東洋史）	世界史の学修に必要な基礎的な知識を修得する	○	○	○	○	
		世界史講義２（アジア史）						
		世界史講義３（西洋史）		○	○			
		世界史講義４（文明史）		○	○		○	○
		考古学講義１（先史考古資料論）	考古学・文化財科学の学修に必要な基礎的な知識を修得する	○			○	
		考古学講義２（歴史考古資料論）		○	○			○
		考古学講義３（埋蔵文化財学）		○	○		○	
		文化財科学講義１（保存環境論）						
		文化財科学講義２（保存修復）		○	○			
		環境歴史学講義１（環境歴史論）	環境歴史学・文化遺産学の学修に必要な基礎的な知識を修得する	○	○	○	○	○
		環境歴史学講義２（環境歴史地理論）		○	○	○		○
		文化遺産学講義１（民俗資料論）		○	○			
		文化遺産学講義２（石造文化財資料論）		○				○
		史学概論	歴史学・文化財科学に関係の深い分野の基礎的知識を修得する	○	○		○	
		歴史地理		○	○	○	○	○
		社会学概論		○	○			
		経済学概論		○	○			○
		法律学概論		○	○			○
		政治学概論		○	○	○	○	○
		法制史		○	○			
		国際関係概論		○	○			○
		国際交渉論		○	○	○	○	○
		宗教史		○				
		環境史		○	○		○	○
		美術工芸論		○				○
		人類学総論		○	○			○
		文化財保護論		○				
		人類学特講						
		世界遺産学特論		○	○		○	○
		環境植生論		○	○		○	
		環境考古学		○	○			○
		地誌学		○	○	○	○	○
		博物館資料論		○	○			
		博物館経営論		○	○	○	○	○
		博物館実習		○	○	○	○	○
コース	環境歴史学・文化遺産学	民俗学特講	環境歴史学・文化遺産学の専門領域に関する深い知識を修め、調査や文化財修復等の知識・技能を修得している	○	○		○	○
		観光地理学特講		○	○		○	
		環境歴史学特講１		○	○	○	○	○
		環境歴史学特講２						
		環境歴史学・文化遺産学実習Ⅰ（村落遺跡調査法）		○	○	○	○	○
		環境歴史学・文化遺産学実習Ⅱ（民俗学調査法）		○	○	○	○	○
		環境歴史学・文化遺産学実習Ⅲ（観光地理学調査法）						
		環境歴史学・文化遺産学実習Ⅲ（伝統的修復法）		○	○		○	
	考古学・文化財科学	考古学特講１（旧石器・縄文考古学）	考古学・文化財科学の専門領域をさらに深めるための知識を修得する	○	○	○		
		考古学特講２（弥生・古墳考古学）		○		○		
		考古学特講３（歴史考古学）		○	○			○
		文化財科学特講１（科学分析）						
		文化財科学特講２（保存修復）		○	○			
		考古学実習Ⅰ（調査整理法）	考古学・文化財科学の専門	○		○	○	
		考古学実習Ⅱ（調査整理法）		○	○	○	○	
		文化財科学実習Ⅰ（機器分析）						

科目区分		授 業 科 目	学修成果の目標（ディプロマポリシー）					
			専門力	汎用力				
				思考力	実行力	表現力	情報力	
専門科目		文化財科学実習Ⅱ（修復）	領域に関する深い知識を修め、調査や発掘、科学分析等の技能を体験的に修得する。	○	○	○		
		文化財科学実習Ⅲ（インターンシップ）		○		○	○	
		埋蔵文化財実習Ⅰ（遺跡発掘）		○		○		
		埋蔵文化財実習Ⅱ（遺跡発掘）		○	○		○	
		埋蔵文化財実習Ⅲ（インターンシップ）		○	○	○	○	○
	世界史	世界史特講１（東洋史）	世界史の専門領域に関する深い知識を修め、歴史についての多角的な理解、洞察力を身につける	○	○	○	○	
		世界史特講２（アジア史）						
		世界史特講３（西洋史）		○	○			
		世界史特講４（文明史）		○	○		○	○
	日本史・アーカイブズ	日本史特講１（古代史）	日本史の専門領域に関する深い知識を修め、歴史についての多角的な理解、洞察力を身につけている					
		日本史特講２（中世史）		○		○	○	○
		日本史特講３（近世史）		○	○			
		日本史特講４（近現代史）		○			○	
		アーカイブズ実習Ⅰ	アーカイブズ学の知識・技能を実習を通して修得する	○		○		
		アーカイブズ実習Ⅱ		○		○		
	卒業論文		４年間の学修の総仕上げとして、自らテーマを設定し、研究を行い、論文にまとめる	○	○	○	○	○
	卒業研究							

４）人間関係学科専門科目カリキュラムマップ（平成30年度入学生）

	学習成果の目標の各項目		学習成果の目標の各項目の詳細
学修成果の目標（ディプロマポリシー）	専門力		下記の表の各科目区分に記載
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

科目区分		授業科目	学修成果の目標				
			専門力	汎用力			
				思考力	実行力	表現力	情報力
演習科目	発展演習	発展演習１（人間関係）	専門の基礎的な知識・能力を高める ○	○	○	○	○
		発展演習２（人間関係）	○	○	○	○	○
	専門演習	専門演習１（社会福祉）	専門の知識や考え方を深めるとともに、課題の探求力、発表能力などを高め、卒業演習につなげる ○	○		○	○
		専門演習１（心理）	○	○		○	○
		専門演習１（教育・生涯スポーツ）	○	○		○	○
		専門演習２（社会福祉）	○	○		○	○
		専門演習２（心理）	○	○		○	○
		専門演習２（教育・生涯スポーツ）	○	○		○	○
	卒業演習	卒業演習１（社会福祉）	テーマを絞って専門の学修を深め、4年間の集大成となる卒業論文（卒業制作）又は卒業研究を完成させる ○	○		○	
		卒業演習１（心理）	○	○	○	○	○
		卒業演習１（教育・生涯スポーツ）	○	○		○	○
		卒業演習２（社会福祉）	○			○	
		卒業演習２（心理）	○	○	○	○	○
		卒業演習２（教育・生涯スポーツ）	○	○	○	○	○
	専門基礎科目	社会理論と社会システム	○	○			
		心理学理論と心理的支援	○				○
		現代社会と福祉Ⅰ	○	○			
		現代社会と福祉Ⅱ	○	○			○
		相談援助の基盤と専門職Ⅰ	○	○		○	
		相談援助の基盤と専門職Ⅱ	○		○	○	
		心理学概論Ⅰ	○			○	○
		心理学概論Ⅱ	○			○	
		公認心理師の職責	○				
		心理学統計法	○				
		神経・生理心理学Ⅰ	○				
		神経・生理心理学Ⅱ	○				
		精神保健の課題と支援Ⅰ	○	○			
		精神保健の課題と支援Ⅱ	○	○			
		人体の構造と機能及び疾病	○				○
		カウンセリング概論	○	○	○	○	○
		社会・集団・家族心理学	○				
		産業・組織心理学	○				
		学習・言語心理学	○				
		レクリエーション指導法	○		○		
		福祉サービスの組織と経営	○	○	○		

学科専門科目		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	社会福祉、精神保健福祉、心理、教育・生涯スポーツの各分野の基礎的な知識、技能を修得する	○	○		○	○
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ		○	○			○
		障害者に対する支援と障害者自立支援制度		○	○			
		就労支援サービス		○	○	○	○	○
		児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度		○	○			
		更生保護制度		○	○			
		低所得者に対する支援と生活保護制度		○	○			○
		地域福祉の理論と方法Ⅰ		○	○	○	○	○
		地域福祉の理論と方法Ⅱ		○	○	○	○	○
		権利擁護と成年後見制度		○	○			○
		相談援助の理論と方法Ⅰ		○	○		○	
		相談援助の理論と方法Ⅱ		○	○		○	
		保健医療サービス		○	○			○
		福祉行財政と福祉計画Ⅰ		○	○		○	○
		福祉行財政と福祉計画Ⅱ		○	○	○	○	○
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ		○	○			○
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ		○	○			○
		精神障害者の生活支援システム		○	○			○
		精神保健福祉相談援助の基盤		○	○			○
		精神疾患とその治療Ⅰ		○	○			○
		精神疾患とその治療Ⅱ		○	○			○
		社会保障Ⅰ		○	○			○
		社会保障Ⅱ		○	○			○
		社会調査の基礎		○	○			○
		社会学概論		○	○			
		経済学概論		○	○			○
		哲学概論		○			○	
	社会福祉分野	相談援助の理論と方法Ⅲ	社会福祉、精神保健福祉の分野の専門的な知識を修得し、現場での実践力を身につける。	○	○		○	
		相談援助の理論と方法Ⅳ		○	○		○	○
		相談援助演習Ⅰ		○	○	○	○	
		相談援助演習Ⅱ		○	○	○	○	
		相談援助演習Ⅲ		○	○		○	○
		相談援助演習Ⅳ		○	○	○	○	○
		相談援助演習Ⅴ		○	○	○	○	○
		相談援助実習Ⅰ		○	○	○	○	○
		相談援助実習Ⅱ		○	○	○	○	○
		相談援助実習指導Ⅰ		○	○	○	○	○
		相談援助実習指導Ⅱ		○	○	○	○	○
		相談援助実習指導Ⅲ		○	○	○	○	○
		精神保健福祉援助演習Ⅰ		○		○	○	
		精神保健福祉援助演習Ⅱ		○	○	○	○	
		精神保健福祉援助演習Ⅲ		○		○	○	
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ		○	○	○		
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ		○	○	○		
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ		○	○			○
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ		○	○			○
		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ		○	○	○	○	○
		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		○	○		○	
		精神保健福祉援助実習指導Ⅲ		○	○	○	○	
		精神保健福祉援助実習Ⅰ		○	○	○		○
		精神保健福祉援助実習Ⅱ		○	○		○	
		福祉特別演習Ⅰ		○	○	○		
		福祉特別演習Ⅱ		○	○	○		
		福祉特別演習Ⅲ		○	○	○		○
コー		精神保健福祉特別演習Ⅱ		○				

ース専門科目		精神保健福祉特別演習Ⅲ		○	○	○		
	心理分野	感情・人格心理学	心理の分野の専門的な知識を修得し、現場での実践力を身につけている。	○				
		障害者・障害児心理学		○				
		健康・医療心理学		○				
		福祉心理学		○	○	○		
		教育・学校心理学		○				
		司法・犯罪心理学		○				
		関係行政論		○				
		心理学研究法		○				
		知覚・認知心理学		○				
		発達心理学概論		○				
		心理学実験Ⅰ		○				
		心理学実験Ⅱ		○				
		臨床心理学概論		○	○	○		
		心理学的支援法Ⅰ		○				
		心理学的支援法Ⅱ		○				
		心理的アセスメントⅠ		○				
		心理的アセスメントⅡ		○				
		心理演習Ⅰ		○				
		心理演習Ⅱ		○				
		心理実習		○				
	教育・生涯スポーツ分野	スポーツ社会学	教育・生涯スポーツの分野の専門的な知識を修得し、現場での実践力を身につけている。	○	○		○	○
		スポーツ教育学		○	○	○		
		コーチング論		○	○	○		
		トレーニング論		○	○	○		
		教育調査論		○	○			○
		介護概論		○				
		教育学		○	○		○	○
		地域教育論		○	○	○	○	○
		教育学方法論		○	○	○	○	○
		教育制度論		○	○		○	○
	卒業論文		４年間の学修の総仕上げとして、自らテーマを設定し、研究を行い、卒業論文(卒業研究)にまとめる	○	○	○	○	○

Ⅱ　食物栄養科学部

１．教養科目群カリキュラムマップ

１）食物栄養学科

	学習成果の目標の各項目		学習成果の目標の各項目の詳細
学修成果の目標（ディプロマポリシー）	専門力		下記の表の各科目区分に記載
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

授業科目		学修成果の目標（ディプロマポリシー）					
		専門力		汎用力			
				思考力	実行力	表現力	情報力
基礎ゼミ	導入演習（食物栄養）	大学教育に必要な基礎的素養を身につけ、建学の理念や教育方針等を理解する	○			○	
	基礎演習（食物栄養）		○	○	○	○	
学際科目	大学史と別府大学	特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につける	○	○	○		
	温泉学概論		○	○	○		○
	キャリア教育Ⅰ		○	○	○		
	キャリア教育Ⅱ		○		○	○	○
	インターンシップⅠ		○		○	○	
	インターンシップⅡ		○		○	○	
	市民生活とアーカイブズ		○	○	○		
	ＮＰＯ論		○	○		○	○
	トップマネジメント講話		○	○	○		
	手話		○			○	
	世界農業遺産体験学習		○		○		
	九州学		○			○	
	地域社会フィールドワーク演習		○	○	○	○	○
	汎領域研究１（単位互換）		○				
	汎領域研究２（単位互換）		○				
	汎領域研究３（単位互換）		○				
	汎領域研究４（単位互換）		○				
英　　語	総合英語Ⅰ	英語の基礎的なコミュニケーション能力を身につける	○	○		○	
	総合英語Ⅱ		○	○		○	
	総合英語Ⅲ		○			○	
	総合英語Ⅳ		○			○	
	英語コミュニケーションⅠ		○		○	○	○
	英語コミュニケーションⅡ		○		○	○	○
人間の探求	文学Ⅰ	人間と文化の探求に必要な教養を身につける	○	○		○	
	文学Ⅱ		○	○		○	
	歴史学		○	○			
	職業の倫理学		○	○			
	哲学における人間と世界		○	○			
	世界文化史－文化としての科学－		○				
	児童サービス論		○	○	○	○	
現代社会の理解	社会心理学	現代社会の理解に必要な教養を身につける	○	○	○	○	○
	法学(日本国憲法)		○	○			○
	社会学		○				
	生涯学習概論		○	○			
	図書館概論		○	○			
	図書館サービス概論		○	○		○	
	科学と社会		○				
	社会生活概論		○	○	○		
科学技術と環境	科学技術論	科学技術と環境の理解に必要な教養を身につける	○				
	自然人類学Ⅰ		○				
	自然人類学Ⅱ		○				
	細胞からみた生命		○	○	○	○	○
	生命とコミュニケーション		○	○	○	○	
	科学史		○				
情報処理	情報科学リテラシーⅠ	情報の収集、作成、加工、発信の	○			○	○

	情報科学リテラシーⅡ	情報の収集・作成・加工・発信の基礎スキルを身につける	○			○	○
	情報サービス論		○	○			○
運動と健康	体育実技Ⅰ	健康の管理と健康保持に果たす運動の役割を理解する	○	○	○	○	○
	体育実技Ⅱ		○	○	○	○	○
	スポーツと健康		○				○
国際理解のための言語	フランス語Ⅰ	英語以外の外国語の基礎を修得し、国際的な視野を広める	○				
	フランス語Ⅱ		○				
	中国語Ⅰ		○	○	○	○	
	中国語Ⅱ		○	○	○	○	○
	韓国語Ⅰ		○	○			
	韓国語Ⅱ		○	○			

２）発酵食品学科

授業科目		学修成果の目標（ディプロマポリシー）					
		専門力		汎用力			
				思考力	実行力	表現力	情報力
基礎ゼミ	導入演習（発酵食品）	大学教育に必要な基礎的素養を身につけ、建学の理念や教育方針等を理解する	○		○		
	基礎演習（発酵食品）		○				○
学際科目	大学史と別府大学	特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につける	○	○	○		
	温泉学概論		○	○	○		○
	キャリア教育Ⅰ		○	○	○		
	キャリア教育Ⅱ		○		○	○	○
	インターンシップⅠ		○		○	○	
	インターンシップⅡ		○		○	○	
	市民生活とアーカイブズ		○	○	○		
	ＮＰＯ論		○	○		○	○
	トップマネジメント講話		○	○	○		
	手話		○				
	世界農業遺産体験学習		○		○		
	九州学		○			○	
	地域社会フィールドワーク演習		○	○	○	○	○
	汎領域研究１（単位互換）		○				
	汎領域研究２（単位互換）		○				
	汎領域研究３（単位互換）		○				
	汎領域研究４（単位互換）		○				
英　　語	総合英語Ⅰ	英語の基礎的なコミュニケーション能力を身につける	○	○		○	
	総合英語Ⅱ		○	○		○	
	総合英語Ⅲ		○			○	
	総合英語Ⅳ		○			○	
	英語コミュニケーションⅠ		○		○	○	○
	英語コミュニケーションⅡ		○		○	○	○
人間の探求	文学Ⅰ	人間と文化の探求に必要な教養を身につける	○	○		○	
	文学Ⅱ		○	○		○	
	歴史学		○				
	職業の倫理学		○	○			
	哲学における人間と世界世		○	○			
	界文化史－文化としての科学－		○				
	児童サービス論		○				
現代社会の理解	社会心理学	現代社会の理解に必要な教養を身につける	○	○	○	○	○
	法学(日本国憲法)		○	○			○
	社会学		○				
	生涯学習概論		○				
	図書館概論		○	○			
	図書館サービス概論		○				
	科学と社会		○				
	社会生活概論		○	○	○		
科学技術と環境	科学技術論	科学技術と環境の理解に必要な教養を身につける	○				
	自然人類学Ⅰ		○				
	自然人類学Ⅱ		○				
	細胞からみた生命		○	○	○	○	○
	生命とコミュニケーション		○	○	○	○	
	科学史		○				
情報処理	情報リテラシーⅠ	情報の収集・作成・加工・発信の基礎スキルを身につける	○			○	○
	情報リテラシーⅡ		○			○	○
	情報サービス論		○				
運動と健康	体育実技Ⅰ	健康の管理と健康保持に果たす運動の役割を理解する	○	○	○	○	○
	体育実技Ⅱ		○	○	○	○	○
	スポーツと健康		○				○

国際理解のための言語	フランス語Ⅰ	英語以外の外国語の基礎を修得し、国際的な視野を広める	○				
	フランス語Ⅱ		○				
	中国語Ⅰ		○	○	○	○	
	中国語Ⅱ		○	○	○	○	○
	韓国語Ⅰ		○	○			
	韓国語Ⅱ		○	○			

２．外国人留学生及び帰国子女を対象にした科目カリキュラムマップ

授業科目の名称		学修成果の目標（ディプロマポリシー）					
		教養		汎用力			
				思考力	実行力	表現力	情報力
日本語	上級日本語聴解１	外国人留学生が大学で専門的な学修ができるための必要な日本語力を修得する	○		○		
	上級日本語聴解２		○				
	上級日本語文字・語彙１		○			○	
	上級日本語文字・語彙２		○			○	
	上級日本語文法１		○			○	
	上級日本語文法２		○			○	
	上級日本語読解１		○	○	○	○	
	上級日本語読解２		○	○	○	○	
	日本語アカデミックリーディング１		○	○		○	
	日本語アカデミックリーディング２		○	○		○	
	日本語アカデミックプレゼンテーション１		○	○	○	○	○
	日本語アカデミックプレゼンテーション２		○	○	○	○	○
	日本語アカデミックライティング１		○			○	
	日本語アカデミックライティング２		○			○	
	日本語アカデミックライティング３		○			○	
	日本語アカデミックライティング４		○			○	
	日本語アカデミックスキル１		○				○
	日本語アカデミックスキル２		○				○

３．食物栄養科学部専門科目群

１）食物栄養学科専門科目カリキュラムマップ

	学習成果の目標の各項目		学習成果の目標の各項目の詳細
学修成果の目標（ディプロマポリシー）	専門力		下記の表の各科目区分に記載
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

授業科目				学修成果の目標（ディプロマポリシー） 専門力		汎用力 思考力	実行力	表現力	情報力
基礎スキル科目			統計学	栄養学および健康科学を学ぶための基礎スキルを身につけている	○	○			
			社会調査概論		○	○			
			一般化学		○	○		○	○
			栄養情報処理		○	○			○
			食生活論		○				○
専門基礎分野	社会・環境と健康	地域・社会と人間	社会福祉論	社会・環境と健康の関係、健康の概念、保健・医療・福祉・介護システムについて、基礎的な知識を身につけている	○	○		○	○
			社会福祉援助技術実習		○		○	○	
		健康増進・疾病予防	健康管理概論		○				○
			公衆衛生学Ⅰ		○	○			○
			公衆衛生学Ⅱ		○	○			○
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	人体の構造	解剖生理学	人体の構造と機能、環境変化に対する対応機能および疾病の成因、病態、診断、治療、生体防御について基礎的な知識を身につけ、それに関する実験の技能を身につけている	○				○
			解剖生理学実験		○		○		
		細胞・器官と機能	生化学Ⅰ		○				○
			生化学Ⅱ		○				○
			生化学実験		○	○	○		○
		環境変化と人体の機能	運動生理学		○				○
			運動生理学実験		○	○	○	○	○
		疾病の理解	医学概論・臨床医学入門		○				○
		病因・病態と生体防御	病態生理学		○				○
			微生物学(生体防御を含む)		○	○			
	食べ物と健康	食品成分の理解と人間生活	食品学Ⅰ	食品の栄養特性・物性と食品成分の人間生活・健康に与える影響および食品の加工・調理や食の安全性・衛生管理について理解し、それに関する実験の技能や調理・加工技術を身につけている	○	○		○	○
			食品学Ⅱ		○	○		○	○
			食品学実験		○	○		○	○
		食品の保蔵・加工・調理	食品加工学		○				○
			食品加工学実習		○	○	○		○
			調理学		○				○
			基礎調理実習		○		○		
			調理実習		○		○		
			応用調理実習		○	○	○		
			調理学実験		○		○		○
		食品の衛生・安全	食品衛生学		○	○			○
			食品衛生学実験		○	○	○	○	○
専門分野	基礎栄養学		基礎栄養学	健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割およびエネルギーや栄養素の代謝の生理的意義について理解し、それに関する実験の技能を身につけている	○		○		
			基礎栄養学実験		○	○	○		
	応用栄養学		応用栄養学Ⅰ	発育・加齢や妊娠など人体の構造や機能の変化に伴う栄養状態の変化と栄養アセスメント・栄養管理について理解し、それに関する実習技能を身につけている	○	○			
			応用栄養学Ⅱ		○	○		○	
			応用栄養学Ⅲ		○	○			
			応用栄養学実習		○	○		○	
			実践栄養学実習		○	○	○	○	○
	栄養教育論		栄養教育論Ⅰ	健康・栄養状態、食行動、食環境に関する情報の収集・分析および栄養教育計画の作成・実施・評価について理解し、行動科学やカウンセリングに関する実習技能を身につけている	○	○	○	○	○
			栄養教育論Ⅱ		○	H31から開講			
			栄養カウンセリング論		○	○	○		
			栄養教育論実習		○	○	○		○
			栄養カウンセリング実習		○	○	○	○	
	臨床栄養学		臨床栄養学Ⅰ	傷病者の病態や栄養状態に応じた適切な栄養管理を行うために、栄養アセスメントによる評価・判定方法や栄養ケア計画の作成・実施・評価について理解し、傷病者の栄養指導に関する実習技能を身につけている	○				○
			臨床栄養学Ⅱ		○				○
			臨床栄養学Ⅲ		○			○	○
			臨床福祉介護論		○			○	
			臨床栄養学実習		○		○		
			臨床介護栄養実習		○		○	○	
	公衆栄養学		公衆栄養学Ⅰ	国や地域社会の健康・栄養問題や政策および活動、関連要因の情報収集・課題分析について学び、公衆栄養活動に計画立案・実施・評価等について理解し、それに関する実習・演習技能を身につけている	○				○
			公衆栄養学Ⅱ		○			○	○
			地域栄養活動演習		○	○			
			公衆栄養学実習		○	○	○	○	○

授業科目			学修成果の目標（ディプロマポリシー）					
			専門力		汎用力			
					思考力	実行力	表現力	情報力
	給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ	給食運営および物資や人材の資源の利用方法を学び、栄養面・安全面・経営面の管理について理解し、総合的マネジメントに関する実習技能を身につけている	○	○	○		
		給食経営管理論Ⅱ		○	○	○		
		給食経営管理実習		○	○	○		
	総合演習	実験・実習事前総合演習	専門基礎分野と専門分野を横断した栄養学および健康科学について理解し、それらを活用できる総合的な能力を身につけている	○	○			
		総合栄養マネジメント演習Ⅰ		○	○	○		
		総合栄養マネジメント演習Ⅱ		○	○	○	○	
		総合栄養マネジメント演習Ⅲ		○	○		○	
	臨地実習	臨床栄養学臨地実習	管理栄養士の活動の場での栄養評価・栄養管理を行うために必要な知識と技術および関連職種との連携を理解し、それらを行うために技術を校外実習で身につけている	○	○	○	○	
		公衆栄養学臨地実習		○	○	○		
		給食運営臨地実習		○	○	○		
特別演習		管理栄養士演習Ⅰ	専門基礎分野と専門分野を横断した栄養学および健康科学を身につけている	○	○			○
		管理栄養士演習Ⅱ		○				○
		管理栄養士発展演習Ⅰ		○	○		○	○
		管理栄養士発展演習Ⅱ		○	○		○	○
専門演習		実践専門演習Ⅰ	実践的な活動の場での課題の発見と解決を通して、卒後に栄養士・管理栄養士として必要な知識・技能を理解し、演習を通じて身につけている	○	H31から開講			
		実践専門演習Ⅱ		○	H31から開講			
自由選択科目		フードスペシャリスト論	栄養士・管理栄養士として、より深化した多角的な知識や複合的な技術を身につけている	○				○
		フードコーディネート論		○	○		○	
		フードマーケティング論		○	○			
		比較食文化論		○	○		○	○
		実践スポーツ栄養学		○	○			
		栄養生化学		○	○			
		健康増進論		○	○			
		医と食		○	○			○
		食物アレルギーの栄養指導		○	○	○	○	○
		病態栄養医学		○	H31から開講			
		地域健康支援演習		○	○	○	○	○
		地域健康・運動指導実習		○	○	○	○	○
栄養教諭免許科目		学校栄養指導論Ⅰ	栄養教諭に必要な栄養指導についての知識・技能を理解し、演習を通じて身につけている	○	○	○	○	
		学校栄養指導論Ⅱ		○	○	○	○	○
卒業論文			卒業研究を通した課題発見とその客観的分析と解決のために必要な知識・技能を身につけている。	○	○	○	○	○

２）発酵食品学科専門科目カリキュラムマップ

	学習成果の目標の各項目		学習成果の目標の各項目の詳細
学修成果の目標（ディプロマポリシー）	専門力		下記の表の各科目区分に記載
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

授業科目			学修成果の目標（ディプロマポリシー） 専門力		汎用力 思考力	実行力	表現力	情報力
基礎スキル科目		統計学	発酵食品学等のバイオサイエンスを学ぶための基礎スキルを身につけている	○	○			
		社会調査概論		○	○			
		論文作成法		○	○	○	○	○
専門基礎科目	化学の基礎	基礎化学	化学の基礎的な知識を身につけ、それに関する実験の技能を身につけている。	○	○	○	○	
		分析化学		○	○			
		物理化学		○				
		有機化学		○		○	○	
		分析化学実験		○			○	
	バイオサイエンスの基礎	細胞生物学	バイオサイエンスの基礎的な知識を身につけ、それに関する実験の技能を身につけている。	○				
		食資源論		○	○		○	○
		運動生理学		○				○
		微生物学		○	○			
		生化学Ⅰ		○				
		生化学Ⅱ		○	○			
		分子生物学		○				
		生化学実験		○	○			
	バイオテクノロジーの基礎	微生物工学	バイオテクノロジーの基礎的な知識を身につけ、それに関する実験の技能を身につけている。	○	○			
		微生物遺伝学		○				○
		生命倫理学		○	○			
		細胞工学		○				
		微生物工学実験		○				
	食の基礎	食品学	食についての基礎的な知識を身につけ、それに関する実験の技能を身につけている。	○	○			○
		食生活論		○				○
		比較食文化論		○				
		食品化学		○	○			
		栄養化学		○	○			
		食品分析学		○	○			
		食品分析学実験		○	○			
		食品加工学		○				○
		食品加工学実習		○	○	○		○
	食の安全の基礎	医学概論	食の安全の基礎的な知識を身につけ、それに関する実験の技能を身につけている。	○				○
		健康管理概論		○	○			
		保健栄養食品学		○	○			○
		食品衛生学		○	○			○
		公衆衛生学総論		○	○			○
		公衆衛生学各論		○	○			○
		食品保蔵学		○				
		食品衛生学実験		○	○	○	○	○
	発酵と食品	醸造微生物学	発酵と食品に関する専門的な知識を身につけ、それに関する製造の技術を身につけている。	○	○			
		酵母学		○				
		発酵食品学		○				
		味噌・醤油製造学		○	○			
		酒類製造学		○	○			
		調味食品学		○	○			
		酒類生産学実験		○		○		
		発酵食品製造実習		○		○	○	
	バイオサイエンスと環境	環境微生物学	生活環境から地球環境の保全に関して微生物を活用できる知識を深め、その活用を図る能力を身につけている。	○				○
		醸造環境学		○	○			
		資源環境科学総論		○				○
	バイオテクノロジー	バイオテクノロジー論	バイオテクノロジーについての知識を身につけ、それに関する実験の技能を身につけている。	○	○			○
		微生物ﾊﾞｲｵﾃｸﾉﾛｼﾞｰ論		○				
		細胞工学実験		○	○	○	○	
		生体機能分子学実験		○	○	○	○	
	発酵と社会	醸造・発酵産業論	発酵食品の製造や経営に関する知識を深め、これを応用できる能力を身につけている。	○	○			○
		醸造・発酵経営論		○			○	○
		発酵食品開発学		○	○	○	○	○
		知的財産所有論		○				

		授業科目	学修成果の目標（ディプロマポリシー）		汎用力			
専門科目		食品関係法規		○	○			○
		品質鑑定論		○				○
	食と流通	会計の基礎	食品の生産、流通、経営に関する知識を身につけ、発酵食品を加工する技術を身につけている。	○	○		○	○
		簿記Ⅰ		○	○			
		簿記Ⅱ		○	○			
		マーケティング論		○			○	
		地域経営論		○	○	○	○	
		食糧流通システム		○		○	○	
		経営学特別講義		○	○			
		農業経営		○	○		○	
		食品統計学		○	○			
		発酵食品加工実習		○		○	○	
	食品と香料	香料学概論	香粧品や食品の香りに関する知識を深め、これらに関する実験の技能を身につけている。	○	○			
		香料化学		○	○	○	○	
		食品香粧学		○	○	○		○
		官能評価学		○	○	○	○	
		香料分析学		○		○	○	○
		香料機能学		○		○	○	○
		食香粧品製造実習		○	○	○	○	
		香料学実験		○	○	○	○	
	総合演習	ﾊﾞｲｵﾃｸﾉﾛｼﾞｰ論演習Ⅰ	バイオサイエンスの知識とバイオテクノロジー技術を身につけ、これらを応用できる能力を身につけている。	○	○			
		ﾊﾞｲｵﾃｸﾉﾛｼﾞｰ論演習Ⅱ		○		○	○	
	臨地実習	臨地実習Ⅰ	就職活動に必要な能力、及び校外実習を通じ自身の進路について理解を深め、将来の目標をたてる能力を身につけている。	○		○	○	
		臨地実習Ⅱ		○		○	○	
	関連科目	物理学	中学校教諭1種免許（理科）、高等学校教諭1種免許（理科）取得に必要な物理と基礎地学についての知識・技能を身につけている。	○	○			
		基礎地学		○				
		物理学実験		○				
		基礎地学実験		○			○	
	外書講読		英文の科学論文を読み、英語論文の講読・作成に必要な力を高める。	○	○		○	○
	卒業研究		卒業研究を通した課題発見とその客観的分析と解決のために必要な知識・技能を身につけている。	○	○	○	○	○
	卒業論文			○	○	○	○	○

Ⅲ　国際経営学部

１．教養科目群カリキュラムマップ

	学習成果の目標の各項目		学習成果の目標の各項目の詳細
学修成果の目標（ディプロマポリシー）	教養		下記の表の各科目区分に記載
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

科目区分		授業科目の名称	学修成果の目標（ディプロマポリシー） 教養		汎用力 思考力	実行力	表現力	情報力
基礎ゼミ		導入演習（国際経営）	大学教育に必要な基礎的素養を身につけ、建学の理念や教育方針等を理解する	○	○	○	○	○
		基礎演習（国際経営）		○	○	○	○	○
コア科目	コア１ 学際科目	大学史と別府大学	特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につける	○	○	○		
		温泉学概論		○	○	○		○
		キャリア教育Ⅰ		○	○	○		
		キャリア教育Ⅱ		○		○	○	○
		インターンシップⅠ		○		○	○	
		インターンシップⅡ		○		○	○	
		市民生活とアーカイブズ		○	○	○		
		ＮＰＯ論		○	○		○	○
		トップマネジメント講話		○	○	○		
		手話		○			○	
		世界農業遺産体験学習		○		○		
		九州学		○			○	
		地域社会フィールドワーク演習		○	○	○	○	○
		汎領域研究１（単位互換）		○				
		汎領域研究２（単位互換）		○				
		汎領域研究３（単位互換）		○				
		汎領域研究４（単位互換）		○				
	コア２ 人間と文化の探求	文学	人間と文化の探求に必要な教養を身につける	○	○		○	
		哲学		○	○			
		倫理学		○	○			
		生命倫理学		○	○			
		心理学Ⅰ		○	○	○	○	○
		心理学Ⅱ		○	○	○	○	○
		日本文化史		○	○		○	○
		世界文化史		○	○		○	○
		科学史		○	記入なし			
		体育実技Ⅰ		○	○	○	○	○
		体育実技Ⅱ		○	○	○	○	○
		スポーツと健康		○	○			
	コア３ 現代社会の多面的理解	法学(日本国憲法)	現代社会の多面的理解に必要な教養を身につける	○	○			○
		法律学		○	○			○
		行政法		○	○			○
		社会学		○	○			
		歴史学		○	○			
		地域福祉論		○	○			
		社会調査法		○	○			
		社会思想史		○	○			
		政治学		○	○	○	○	○
		マスコミ論		○	○	○		
		国際文化論		○				
		国際関係論		○	○			○
		地域環境論		○				
		情報文化論		○	○		○	○
		国際理解Ⅰ		○	記入なし			
		国際理解Ⅱ		○	記入なし			
		社会生活概論		○	○	○		
		ボランティア活動論		○	○	○	○	○
		人権教育論		○	○			○

コア４ 科学と情報	生物学	自然環境の理解に必要な教養を身につける	○	○	○	○	○
	数学基礎		○	○			
	化学基礎		○			○	
	科学技術論		○	記入なし			
	科学と社会		○	記入なし			
	情報リテラシーⅠ	情報の収集・作成・加工・発信の基礎スキルを身につける	○			○	○
	情報リテラシーⅡ		○			○	○
	論理学		○	○			
	統計学		○	○			
コア５ 国際理解のための言語	英語１	外国語の基礎的なコミュニケーション能力を身につける	○	○		○	
	英語２		○	○		○	
	英語３		○	○	○	○	○
	英語４		○	○	○	○	○
	英語５		○			○	
	英語６		○			○	
	英会話基礎１		○		○		
	英会話基礎２		○		○		
	ＴＯＥＩＣ１		○			○	
	ＴＯＥＩＣ２		○				○
	ＴＯＥＩＣ３		○		○		
	ＴＯＥＩＣ４		○		○		
	ＴＯＥＩＣ５		○		○	○	○
	ＴＯＥＩＣ６		○		○	○	○
	ＴＯＥＩＣ７		○	○	○		
	ＴＯＥＩＣ８		○	○	○		
	英語ステップアップ演習１		○			○	
	英語ステップアップ演習２		○			○	
	ドイツ語基礎１		○				○
	ドイツ語基礎２		○				○
	ドイツ語コミュニケーション１		○				○
	ドイツ語コミュニケーション２		○				○
	フランス語基礎１		○	○	○	○	
	フランス語基礎２		○	○	○	○	○
	フランス語コミュニケーション１		○	記入なし			
	フランス語コミュニケーション２		○	記入なし			
	中国語基礎１		○		○		
	中国語基礎２		○			○	
	中国語コミュニケーション１		○	○	○	○	
	中国語コミュニケーション２		○	○	○	○	○
	韓国語基礎１		○			○	
	韓国語基礎２		○			○	
	韓国語コミュニケーション１		○			○	○
	韓国語コミュニケーション２		○			○	○
外書講読	外書講読１	英語の文献読解力を高める	○	○		○	
	外書講読２		○	○		○	
	外書講読３		○	○		○	
	外書講読４		○	○		○	

２．外国人留学生及び帰国子女を対象にした科目カリキュラムマップ

区分	授業科目の名称	学修成果の目標（ディプロマポリシー）					
		教養	汎用力				
			思考力	実行力	表現力	情報力	
日本語	上級日本語聴解１	外国人留学生が大学で専門的な学修ができるための必要な日本語力を身につける	○			○	
	上級日本語聴解２		○	記入なし			
	上級日本語文字・語彙１		○			○	
	上級日本語文字・語彙２		○			○	
	上級日本語文法１		○			○	
	上級日本語文法２		○			○	
	上級日本語読解１		○	○	○	○	
	上級日本語読解２		○	○	○	○	
	日本語アカデミックリーディング１		○	○		○	
	日本語アカデミックリーディング２		○	○		○	
	日本語アカデミックプレゼンテーション１		○	○	○	○	○
	日本語アカデミックプレゼンテーション２		○	○	○	○	○
	日本語アカデミックライティング１		○			○	
	日本語アカデミックライティング２		○			○	
	日本語アカデミックライティング３		○			○	
	日本語アカデミックライティング４		○			○	
	日本語アカデミックスキル１		○	○		○	○
	日本語アカデミックスキル２		○	○		○	○

３．国際経営学部専門科目群

１）国際経営学部　専門関連科目カリキュラムマップ

	学習成果の目標の各項目		学習成果の目標の各項目の詳細
学修成果の目標（ディプロマポリシー）	専門力		下記の表の各科目区分に記載
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

科目区分	授業科目	学修成果の目標（ディプロマポリシー）					
		専門力		汎用力			
				思考力	実行力	表現力	情報力
関連科目	時事英語	専門の学修に関連する人文系・社会科学系・芸術系の入門的・概論的な知識を修得する	○	休講			
	英文法１		○				
	英文法２		○				
	欧州事情		○	休講			
	芸能文化論		○	休講			
	日本史概論１		○				
	日本史概論２		○				
	世界史概論１（西洋史）		○	○		○	
	世界史概論２（東洋史）		○				
	地理学概論		○	○		○	
	文化人類学		○	○			○
	図書館概論		○	○			
	生涯学習論Ⅰ		○	○	○	○	○
	生涯学習論Ⅱ		○	○	○	○	○
	文化財科学概論		○	○			
	まちづくり特論		○	○			
	アートマネージメント		○				
	アニメーション概論		○			○	○
	地方自治論		○	○			
	地方行政論		○	○			
	比較文化研究		○				
	図書館サービス概論		○	○		○	
	情報サービス論		○	○			○
	児童サービス論		○	○	○	○	
	世界遺産研究（国外）		○	休講			
	世界遺産研究（国内）		○	休講			
	教育実践Ⅰ	専門の学修を深めるための分野横断的・総合的な知識・技能を修得する	○				
	教育実践Ⅱ		○				
	総合ゼミⅠ		○	○	○		
	総合ゼミⅡ		○	○	○		
	ビジネス日本語（聴読解）１	専門の学修に必要な日本語能力を高める	○				
	ビジネス日本語（聴読解）２		○				
	ビジネス日本語（リーディング）１		○				
	ビジネス日本語（リーディング）２		○				
	ビジネス日本語（ライティング）１		○			○	
	ビジネス日本語（ライティング）２		○			○	○
	ビジネス日本語（コミュニケーション）		○		○	○	
	ビジネス日本語（コミュニケーション）		○				
	ビジネス日本語（経済と社会）１		○				
	ビジネス日本語（経済と社会）２		○				

２）国際経営学科専門科目カリキュラムマップ（平成30年度入学生）

	学習成果の目標の各項目		学習成果の目標の各項目の詳細
学修成果の目標（ディプロマポリシー）	専門力		下記の表の各科目区分に記載
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

科目区分		授業科目	学修成果の目標（ディプロマポリシー）					
			専門力		汎用力			
					思考力	実行力	表現力	情報力
	演習科目	発展演習１（国際経営）	専門の基礎的な知識・能力を高める	○		○	○	
		発展演習２（国際経営）		○		○	○	
		専門演習１（国際経営）	専門の知識や考え方を深めるとともに、課題の探求力、発表能力などを高め、卒業演習につなげる	○	○		○	
		専門演習２（国際経営）		○	○		○	○
		卒業演習１（国際経営）	テーマを絞って専門の学修を深め、４年間の集大成となる卒業論文又は卒業研究を完成させる	○	○	○	○	
		卒業演習２（国際経営）		○	○	○	○	
	共通基礎科目	経営学の基礎	専門分野の科目を学ぶための基礎的な知識・技能を身につける	○			○	○
		会計学の基礎		○	○			○
		観光・地域経営の基礎		○	○	○		
		情報科学概論		○				○
		ビジネスリテラシー		○		○		
		簿記論Ⅰ		○	○			
		簿記論Ⅱ		○			○	
		簿記論Ⅲ		○				
	経営学分野	マーケティング論	経済学についての基本的な知識を身につけ、それを実践で活用する能力を身につける	○			○	
		経営管理論		○			○	○
		生産システム論		○	○	○	○	
		経営組織論		○	○	○	○	○
		商業概論		○				
		経営史		○	H32開講			
		国際マーケティング論		○			○	
		国際経営論		○			○	○
		経営戦略論		○	○	○	○	○
		中小企業論		○				○
		アジア経営		○				○
		経営分析		○				
		経営意思決定論		○	H32開講			
		企業論		○	H33開講			
		リスクマネジメント		○	○	○	○	○
		多国籍企業論		○			○	○
		流通論		○	H31開講			
		品質管理		○	○	○		○
		人的資源管理論		○	H31開講			
		スポーツマネジメント		○	H31開講			
		リーダーシップ論		○	H31開講			
		国内企業研修		○				
	経済学分野	マクロ経済学		○	○			○
		ミクロ経済学		○	○			
		国際経済概論		○	○			
		国際金融		○	○			

		経済政策	経済学についての基本的な知識を身につけ、それを実践で活用する能力を身につけている。	○	H31開講			
		ファイナンス論		○	○			
		銀行論		○				
		貿易論		○				
		農業経済学		○	H31開講			
		中国経済論		○	○			
	会計学分野	簿記Ⅳ	会計学についての基本的な知識を身につけ、それを実践で活用する能力を身につけている。	○	H31開講			
		簿記Ⅴ		○	H31開講			
		会計学		○	H31開講			
		財務会計		○	H31開講			
		原価計算		○				
		財務諸表論		○	H32開講			
		監査論		○	○	○	○	
		管理会計		○				
		税務会計		○	○			
		国際会計論		○	○			○
学科専門	観光・地域経営分野	地理学の基礎	観光・地域経営についての基本的な知識を身につけ、それを実践で活用する能力を身につけている。	○	○		○	
		観光ビジネス論		○			○	○
		観光資源論		○	○		○	
		アグリビジネス		○	○		○	
		環境と経済		○	○			○
		旅行業務論		○	○			○
		旅行地理論		○		○	○	
		エネルギー戦略論		○	○			○
		観光と地域		○	H32開講			
		文化観光論		○	○	○		○
		観光サービス論		○	○	○	○	○
		食料流通システム		○		○	○	
		農業政策		○		○	○	
		地域経営論		○	○	○	○	
		観光と経済		○	H31開講			
		地域ブランド論		○	○		○	
	法律分野	法律学の基礎	経営に関連した法律についての基本的な知識を身につけ、それを実践で活用する能力を身につけている。	○				
		民法			○			○
		税法概論		○	○			○
		経営法務		○	○			
	国際関係分野	国際コミュニケーション	経営に関連した国際関係の基本的な知識を身につけ、それを実践で活用する能力を身につけている。	○			○	○
		国際関係概論		○	○			○
		国際関係史		○	○		○	
		英語経営		○				
		中国語経営		○	○			○
		韓国語経営		○			○	
		海外企業研修		○				
	情報分野	経営情報論	経営に関連した情報システムについての基本的な知識を身につけ、それを実践で活用する能力を身につけている。	○	H31開講			
		情報処理実習Ⅰ		○	H31開講			
		情報処理実習Ⅱ		○	H31開講			
		マルチメディア情報処理		○	○	○	○	
		情報社会論		○	○		○	○
		プログラミング		○	H31開講			
	地域創生プロジ	地域創生プロジェクト1	PBL型授業によって地域や企業等の課題解決、連携事業等に具体的に取り組み、その実践体験を通じて経営に必要な資質・能力を高める。	○				
		地域創生プロジェクト2		○	H31開講			
		地域創生プロジェクト3		○	H31開講			
		地域創生プロジェクト4		○	H32開講			
		地域創生プロジェクト5		○	H32開講			
	キャリアアップ科目	観光キャリアアップⅠ（旅行業務	経営に関連した基本的な知識を身につけ、それを実践で活用する能力を身につけている。	○		○	○	
		観光キャリアアップⅡ（旅行地理		○	○	○	○	
		マーケティング演習		○			○	
		ビジネス実務演習Ⅰ		○	○			
		ビジネス実務演習Ⅱ		○	○			
		ファイナンスリテラシー演習		○	H31開講			
		情報処理総合演習		○				○
		政治学概論		○	○	○	○	○
		社会学概論		○	○			
		簿記キャリアアップⅠ		○	○			
		簿記キャリアアップⅡ		○			○	
		簿記キャリアアップⅢ		○	H31開講			
		マクロ経済学特別講義		○	H31開講			

		ミクロ経済学特別講義		○	H31開講			
		公務員実務演習Ⅰ		○	○	○	○	
		公務員実務演習Ⅱ		○	H31開講			
		公務員実務演習Ⅲ		○	H31開講			
		公務員実務演習Ⅳ		○	H31開講			
		公務員実務演習Ⅴ		○	H31開講			
		公務員実務演習Ⅵ		○	H32開講			
		公務員実務演習Ⅶ		○	H32開講			
	卒業論文	卒業論文	4年間の学修の総仕上げとして、自らテーマを設定し、研究を行い、論文にまとめる。	○	○	○	○	
		卒業研究		○	○	○	○	

４．教職に関する科目カリキュラムマップ

	学習成果の目標の各項目		学習成果の目標の各項目の詳細
学修成果の目標（ディプロマポリシー）	専門力		下記の表の各科目区分に記載
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

科目区分	授業科目	学修成果の目標（ディプロマポリシー）						教養科目・専門科目との関係
		専門力		汎用力				
				思考力	実行力	表現力	情報力	
教職に関する科目	教育職の研究	教職の意義、教員の役割、教員の職務内容等を理解し知識を修得する。	○	○	○	○	○	
	教育原論	教育の理念、歴史、思想を理解し知識を修得する。	○	○	○	○	○	
	教育学		○	○		○	○	人間関係学科専門科目
	発達心理学	幼児、児童、生徒の心身の発達、学習の過程等を理解し知識を修得する(障害のある幼児、児童、生徒を	○	○	○	○	○	
	教育制度論	教育に関する社会的、制度的、経営的事項を理解し知識を修得する。	○					人間関係学科専門科目
	教育課程論	教育の課程及び編成の方法を理解し知識を修得する。	○	○	○	○	○	
	国語科教育法Ⅰ	各教科の指導法を理解し知識と技能を修得する。	○	○	○	○	○	
	国語科教育法Ⅱ		○	○	○	○	○	
	国語科教育法Ⅲ		○	○				
	国語科教育法Ⅳ		○	○				
	英語科教育法Ⅰ		○	○	○		○	
	英語科教育法Ⅱ		○	○	○	○	○	
	英語科教育法Ⅲ		○	○	○	○		
	英語科教育法Ⅳ		○	○	○	○		
	社会科教育法Ⅰ		○	○	○	○	○	
	社会科教育法Ⅱ		○	○	○			
	社会科教育法Ⅲ		○	○				
	社会科教育法Ⅳ		○	○				
	地理歴史科教育法Ⅰ		○	○	○			
	地理歴史科教育法Ⅱ		○	○	○	○	○	
	公民科教育法Ⅰ		○	○				
	公民科教育法Ⅱ		○		○			
	美術科教育法Ⅰ		○	○	○	○		
	美術科教育法Ⅱ		○			○		
	美術科教育法Ⅲ		○		○	○		
	美術科教育法Ⅳ		○	○				
	理科教育法Ⅰ		○	○		○		
	理科教育法Ⅱ		○	○		○		
	理科教育法Ⅲ		○	○		○	○	
	理科教育法Ⅳ		○	○	○	○	○	
	商業科教育法Ⅰ		○		○		○	
	商業科教育法Ⅱ		○		○	○		
	道徳教育の研究	道徳の指導法を理解し知識と技能を修得する。	○	○	○	○	○	
	特別活動論	特別活動の指導法を理解し知識と技能を修得する。	○					
	教育方法論	教育の方法及び技術(情報機器、教材の活用を含む)を理解し知識と技能を修得する。	○	○	○	○	○	
	教育学方法論		○	○	○	○	○	人間関係学科専門科目
	生徒指導論	生徒指導の理論と方法(進路指導を含む)を理解し知識と技能を修得する	○				○	
	生徒指導論		○				○	（食物栄養学科）
	教育相談論	教育相談の理論と方法(カウンセリングの基礎知識を含む)を理解し知識と技能を修得する。	○	○	○	○	○	
	カウンセリング概論		○	○	○	○	○	人間関係学科専門科目
	実習指導	学校現場での教育実践を通じて授業や学校経営の実際を理解するとともに、自らの適性等を再確認する。	○					(事前・事後の指導を含む。)
	教育実習Ⅰ		○	○	○	○	○	
	教育実習Ⅱ		○	○	○	○		

	介護等体験実習指導	特別支援学校や社会福祉施設での実習を通じて介護の意義、目的、技術等を学び、個人の尊厳への理解を深める。	○	○	○	○	○	
	介護等体験実習		○	○	○	○	○	
	教職実践演習（中・高）	教職課程で履修した科目を有機的に統合し修得した知識や技能を再確認する。	○					
	教職実践演習（栄養教諭）		○	○	○			
	総合演習（人権問題）	同和教育の思想や取組を学び人権問題への理解を深める。	○	○	○	○		
	栄養教育実習指導	学校現場での教育実践を通じて授業や学校経営の実際を理解するとともに、自らの適性等を再確認する	○		○	○		（事前・事後の指導を含む。）
	栄養教育実習		○	○	○	○		

５．司書に関する科目カリキュラムマップ

	学習成果の目標の各項目		学習成果の目標の各項目の詳細
学修成果の目標（ディプロマポリシー）	専門力		下記の表の各科目区分に記載
	汎用力	(1) 思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2) 実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3) 表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4) 情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やＩＣＴ機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、ＰＣスキルなどを含む。

科目区分	授業科目	学修成果の目標（ディプロマポリシー）専門力		汎用力 思考力	実行力	表現力	情報力	教養科目・専門科目との関係
基礎科目	生涯学習概論	図書館の意義、役割、歴史、制度、情報技術の基礎知識を修得する。	○	○	○	○	○	文・国経「生涯学習論Ⅰ」、食物「生涯学習論」
	図書館概論		○	○				文・国経・食「図書館概論」
	図書館情報技術論		○					
	図書館制度・経営論		○					
図書館サービスに関する科目	図書館サービス概論	図書館サービスの意義、方法、利用者の支援などの知識、及び情報サービスの実践的な技能を修得する。	○					文・国経・食「図書館サービス概論」
	情報サービス論		○					文・国経・食「情報サービス概論」
	児童サービス論		○					文・国経・食「児童サービス概論」
	情報サービス演習Ⅰ		○	○			○	
	情報サービス演習Ⅱ		○					
図書館情報資源に関する科目	図書館情報資源概論	図書館情報資源の特質、流通、書誌管理等に関する知識、及び情報資源組織業務の実践的な技能を修得する。	○	○				
	情報資源組織論		○					
	情報資源組織演習Ⅰ		○					
	情報資源組織演習Ⅱ		○	○			○	
選択科目	図書館基礎特論	図書館の各種サービスや情報資源についてさらに発展的・実践的な知識や技能を修得する。	○		○			
	図書館サービス特論		○	○	○	○		
	図書館情報資源特論		○	○				
	図書・図書館史		○					
	図書館施設論		○					
	図書館総合演習		○	○	○	○	○	
	図書館実習		○					

６．司書教諭に関する科目カリキュラムマップ

科目区分	授業科目	学修成果の目標（ディプロマポリシー）専門力		汎用力 思考力	実行力	表現力	情報力	教養科目・専門科目との関係
司書教諭に関する科目	学校経営と学校図書館	学校図書館の専門的職務を掌るために必要な知識と技能を修得する。	○			○		
	学校図書館メディアの構成		○					
	学習指導と学校図書館		○					
	読書と豊かな人間性		○					
	情報メディアの活用		○					

７．学芸員に関する科目カリキュラムマップ

科目区分	授業科目	学修成果の目標（ディプロマポリシー）専門力		汎用力 思考力	実行力	表現力	情報力	教養科目・専門科目との関係
必須科目	生涯学習概論	学芸員として身につけなければならない博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業を行うために必要な知識と技能を修得する。	○	○	○	○	○	
	博物館概論		○	○				文学部共通専門「博物館概論」
	博物館展示論		○	○				
	博物館資料論		○	○				
	博物館経営論		○	○	○	○	○	
	博物館資料保存論		○	○				
	博物館情報・メディア論		○	○				文学部共通専門「博物館情報・メディア論」
	博物館教育論		○	○	○	○		
	博物館実習Ⅰ		○		○	○		
	博物館実習Ⅱ		○					
	博物館実習Ⅲ		○	○	○	○	○	
	考古学概論		○	○			○	学部共通専門科目
	文化財科学概論		○	○				学部共通専門科目
	世界遺産学概論		○	○		○	○	学部共通専門科目
	民俗学概論		○	○		○		学部共通専門科目
	環境歴史学概論		○	○		○		学部共通専門科目
	美術史概論		○	○	○	○	○	学部共通専門科目
	文化人類学		○	○			○	学部共通専門科目
	日本文学史		○	○	○	○		国際言語・文化学科専門科目

関連科目 （選択科目）	日本美術史概論	学芸員として身につけることが望まれる博物館に関連する専門分野の知識や技能を修得する。						国際言語・文化学科専門科目
	東洋美術史概論		○			○		国際言語・文化学科専門科目
	西洋美術史概論		○	○	○			国際言語・文化学科専門科目
	書道史Ⅰ							国際言語・文化学科専門科目
	書道史Ⅱ		○	○	○	○		国際言語・文化学科専門科目
	美術工芸論		○				○	史学・文化財学科専門科目
	人類学総論		○	○			○	史学・文化財学科専門科目
	文化財保護論		○					史学・文化財学科専門科目
	アーカイブズ論Ⅰ		○			○		史学・文化財学科専門科目
	アーカイブズ論Ⅱ		○					史学・文化財学科専門科目
	分析化学		○	○				発酵食品学科専門科目
	医学概論		○				○	発酵食品学科専門科目
	香料学概論		○	○				発酵食品学科専門科目
	調味食品学		○	○				発酵食品学科専門科目
	食品分析学		○	○				発酵食品学科専門科目
	基礎化学		○	○	○	○		発酵食品学科専門科目

８．日本語教員に関する科目カリキュラムマップ

	学習成果の目標の各項目		学習成果の目標の各項目の詳細
学修成果の目標（ディプロマポリシー）	専門力		下記の表の各科目区分に記載
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

科目区分		授業科目	学修成果の目標（ディプロマポリシー） 専門力	汎用力 思考力	実行力	表現力	情報力	教養科目・専門科目との関係
社会・文化・地域に関わる領域	社会・文化・地域	日本文化史	言語・コミュニケーションと社会、文化、地域との関わりについて理解し、必要な知識を修得する。 ○	○	○	○	○	文学部教養科目
		世界文化史	○	○		○	○	文学部教養科目
		国際関係論	○	○			○	文学部教養科目
		日本語学講義４（古代日本語の歴史）	○	○		○		国際言語・文化学科専門科目
		日本語学講義５（近代日本語の歴史）	○	○		○		国際言語・文化学科専門科目
		日本語教育概論１	○	○	○			国際言語・文化学科専門科目
		日本語教育概論２	○	○	○			国際言語・文化学科専門科目
		日本語教育キャリア形成論	○					国際言語・文化学科専門科目
	言語と社会	日本語学研究２（日本語の方言）	○					国際言語・文化学科専門科目
		日本語学研究３（日本語のバリエーション	○					国際言語・文化学科専門科目
		比較文化研究	○	○	○		○	文学部共通専門科目
		言語習得概論	○			○		国際言語・文化学科専門科目
		心理学Ⅰ	○	○	○	○	○	文学部教養科目
		心理学Ⅱ	○	○	○	○	○	文学部教養科目
	言語と教育	日本語教育教材論	○					国際言語・文化学科専門科目
		日本語教育実習指導１	○					記載なし
		日本語教育実習指導２	○					記載なし
		日本語教育実習１	○					記載なし
		日本語教育実習２	○					記載なし
		異文化共有論	○	○	○	○		文学部共通専門科目
		情報リテラシーⅠ	○	○	○		○	文学部教養科目
		情報リテラシーⅡ	○		○		○	文学部教養科目
言語に関わる領域	言語	言語学概論	日本語教員として身につけることが望まれる専門分野の知識や技能を修得する。 ○			○		国際言語・文化学科専門科目
		日本語学講義１（音声言語を含む）	○	○		○		国際言語・文化学科専門科目
		日本語学講義２（日本語の語彙）	○			○		国際言語・文化学科専門科目
		日本語学講義３（現代日本語文法）	○	○		○		国際言語・文化学科専門科目
		日本語学研究４（日本語の表記）	○			○	○	国際言語・文化学科専門科目
		日本語学研究５（日本語の文体）	○	○		○		国際言語・文化学科専門科目
		英語１	○	○		○		文学部教養科目
		英語２	○	○		○		文学部教養科目
		英語３	○	○	○	○	○	文学部教養科目
		英語４	○	○	○	○	○	文学部教養科目
		ＴＯＥＩＣ１	○			○		文学部教養科目
		ＴＯＥＩＣ２	○				○	文学部教養科目
		ドイツ語基礎１	○				○	文学部教養科目
		ドイツ語基礎２	○				○	文学部教養科目
		フランス語基礎１	○	○	○	○		文学部教養科目
		フランス語基礎２	○	○	○	○	○	文学部教養科目
		中国語基礎１	○	○	○	○		文学部教養科目
		中国語基礎２	○	○	○	○	○	文学部教養科目
		韓国語基礎１	○	○		○		文学部教養科目
		韓国語基礎２	○	○		○		文学部教養科目
		英会話１	○			○	○	文学部共通専門科目
		英会話２	○			○	○	文学部共通専門科目
		ビジネス日本語（聴読解）１	○	○	○	○	○	文学部共通専門科目
		ビジネス日本語（聴読解）２	○	○	○	○	○	文学部共通専門科目

９．文書館専門職（アーキビスト）に関する科目カリキュラムマップ

	学習成果の目標の各項目		学習成果の目標の各項目の詳細
学修成果の目標（ディプロマポリシー）	専門力		下記の表の各科目区分に記載
	汎用力	(1) 思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2) 実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3) 表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4) 情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やＩＣＴ機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、ＰＣスキルなどを含む。

科目区分		授 業 科 目	学修成果の目標（ディプロマポリシー） 専門力		汎用力 思考力	実行力	表現力	情報力	教養科目・専門科目との関係
基礎科目		市民生活とアーカイブズ	文書館専門職に必要となる基礎的な知識・技能を修得する。	○	○	○			文学部教養科目
		行政法		○	○			○	文学部教養科目
		アーカイブズ論Ⅰ		○			○		史学・文化財学科専門科目
		アーカイブズ論Ⅱ		○					史学・文化財学科専門科目
記録管理科目		アーカイブズ管理論	文書館専門職に必要となる実践的・応用的な知識・技能を修得する。	○		○			史学・文化財学科専門科目
		レコードマネジメント論Ⅰ			H31から開講				史学・文化財学科専門科目
		レコードマネジメント論Ⅱ			H31から開講				史学・文化財学科専門科目
		デジタルアーカイブズ		○		○			文学部共通専門科目
記録資料科目	講義系	日本史講義１(古代史料論)	文書館専門職として身につけることが望まれる関連専門分野の知識や技能を修得する。	○	○		○		史学・文化財学科専門科目
		日本史講義２(中世史料論)		○	○		○	○	史学・文化財学科専門科目
		日本史講義３(近世史料論)		○	○				史学・文化財学科専門科目
		日本史講義４(近現代史料論)		○			○		史学・文化財学科専門科目
		世界史講義１（東洋史）		○	○	○	○		史学・文化財学科専門科目
		世界史講義２（アジア史）							史学・文化財学科専門科目
		世界史講義３（西洋史）		○	○				史学・文化財学科専門科目
		法制史		○	○				史学・文化財学科専門科目
		国際交渉論		○	○	○	○	○	史学・文化財学科専門科目
		宗教史		○					史学・文化財学科専門科目
		日本史特講１（古代史）							史学・文化財学科専門科目
		日本史特講２（中世史）		○		○	○	○	史学・文化財学科専門科目
		日本史特講３（近世史）		○	○				史学・文化財学科専門科目
		日本史特講４（近現代史）		○			○		史学・文化財学科専門科目
	演習系	専門演習１（古代・中世史）		○	○		○		史学・文化財学科専門科目
		専門演習１（近世史）		○		○			史学・文化財学科専門科目
		専門演習１（近現代史１）		○	○		○		史学・文化財学科専門科目
		専門演習１（近現代史２）							史学・文化財学科専門科目
		専門演習２（古代・中世史）		○	○		○		史学・文化財学科専門科目
		専門演習２（近世史）		○			○		史学・文化財学科専門科目
		専門演習２（近現代史１）		○	○		○	○	史学・文化財学科専門科目
		専門演習２（近現代史２）							史学・文化財学科専門科目
実習科目		アーカイブズ実習Ⅰ	公文書館等での実習を通じて文書館専門職に必要な実際的知識・技能を修得する。	○		○			史学・文化財学科専門科目
		アーカイブズ実習Ⅱ		○		○			史学・文化財学科専門科目